#### 様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道7号 青森環状道路
事業主体	東北地方整備局

#### ●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠	
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比(B/C)=3.0 (経済的純現在価値(B-C)=456億円、経済的内部収益率(E   RR)=10.5%)	

#### ●事業の効果や必要性を評価するための指標

理	<b>汝策目標</b>	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリ ティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b (一般国道7号 青森環状道路) について 並行区間等の渋滞損失時間:118.1万人・時間/年 → 42.5万人・時間/年 並行区間等の渋滞損失削減率:約6割削減
		■ 現道等における混雑時族行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間 (青森市筒井地区) 改善見込み (旅行速度10.6km/h → 50km/h)
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	青森市営バス
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	東北新幹線新青森駅、青森市、改善見込み (戸山団地~新青森駅:32分⇒29分)
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	青森空港、青森市、平内町、改善見込み(青森市浅虫地区~青森空港、47分⇒40分)
	物流効率化の支 援	□ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	平内町から養殖ホタテを青森市市場および県外市場へ出荷
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1. 活力	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	青森県広域道路網マスタープラン (青森県) において、2環状道路の外環状道路として位置づけ
		■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	浜田土地区画整理事業、大野土地区画整理事業(奥野第一)
		□ 中心市街地内で行う事業である	
		□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	

	7 m		
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha 以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自尊道 (A'路線) としての位置づけ有り	
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	
	-	□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
	-	□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	青森市~平内町改善見込み (35分⇒28分)
	個性ある地域の 形成	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		■ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	青森地域高度技術產業集積活性化計画
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	三内丸山遺跡(観光客489千人(H15年))、淺虫水族館(観光客数373千人(H15年))
		□ 特別立法に基づく事業である	
		■ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	新幹線新青森駅、青森県総合周産期母子医療センター(平成16年10月開業)
		□ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業 である	
2. 暮らし	歩行者・自転車 のための生活空 間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当 つ する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全 性の向上が期待できる	
		□ 交通パリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通パリアフリー法に基づく重点整 備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化される	
	無電柱化による 美しい町並みの 形成	□ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		□ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心でき るくらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	青森市ハツ役地区 → 青森県立中央病院 (19分⇒12分)
3. 安全	安全な生活環境 の確保	□ 現道等に死傷事故事が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又 は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交 □ 通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量 500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置 ■ づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	青森県緊急輸送道路ネットワーク計画 第一次緊急輸送路としての位置づけ
		□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する (A'路線としての位置づけがある場合)	

	+	□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される。	
		□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:3,081t-C02/年
	生活環境の改善・保全	○ 現道等における自動車からのNO2排出削減率	
	告 床土	○ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	
		□ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		■ その他、環境や景観上の効果が期待される	ビオトープ「共生の郷メダカ郷和国」
5. その他	他のプロジェクトとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	青森市都市計画マスタープラン (青森市、平成11年6月策定) の中で、外環状機能を有するパイパスとして位置づけ
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	東北縦貫自動車道八戸線と相互調整を図りつつ一体的施工を実施
		□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

# 費用便益分析の結果

	路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
_	-般国道7号	青森環状道路	L=7. 9Km	一般国道	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
13, 500~35, 200	4	東北地方整備局

## ① 費 用

	改築費	維持修繕費	合 計	
基 準 年		平成17年度		
単純合計	162億円	94億円	257億円	
うち残事業分	26億円	61億円	87億円	
基準年における 現在価値(C)	183億円	42億円	224億円	
うち残事業分	24億円	27億円	51億円	

#### ② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年		平成 1	7年度	
供用年	平成21年度			
単年便益 (初年便益)	34億円	3億円	1億円	39億円
基準年における 現在価値(B)	598億円	58億円	24億円	680億円
うち残事業分	184億円	13億円	9億円	206億円

#### ③ 結 果

費用便益比(事業全体)	3. 0
費用便益比(残事業)	4. 0

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## ④ 感 度 分 析 (全事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	13, 500~35, 200	±10%	2.7~3.3
事業費	162. 2	±10%	2.9~3.2
事業期間	14	±20%	2. 7~3. 3

## ④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)		
交通量	13, 500~32, 800	±10%	3.7~4.5		
事業費	25. 70	±10%	3.9~4.3		
事業期間	3	±20%	4. 0~4. 1		

## 交通状況の変化

#### 事業名:青森環状道路(事業全体)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
¥F.≑₽.•	改築道路	交通量	[台/日]	22,100	22,800
[バイル	以来追出 パス等] .9km	走行時間	[分]	11	10
. 1	. JKIII	走行時間費用	[億円/年]	39.64	55.03
		交通量	[台/日]	36,200	29,700
	国道4号 :6.1km	走行時間	[分]	8	8
		走行時間費用	[億円/年]	78.25	61.65
	主)青森 環状野内 線	交通量	[台/日]	6,000	2,200
		走行時間	[分]	13	13
主な周	:10.0km	走行時間費用	[億円/年]	21.64	7.60
辺道路	市)松森	交通量	[台/日]	6,000	3,600
	八重田線 : 3.4km	走行時間	[分]	6	6
	. 3.4KIII	走行時間費用	[億円/年]	8.79	4.72
	県)青森	交通量	[台/日]	3,500	3,200
	田代十和 田線	走行時間	[分]	8	8
	:5.4km	走行時間費用	[億円/年]	6.97	6.23
	:道路合計 )1.3km	走行時間費用	[億円/年]	6,673.63	6,659.88

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:4924.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,828.92	6,795.11	33.81

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- 1: 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- 2: 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- 3: 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- 4: 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。



## 交通状況の変化

事業名:青森環状道路(残事業)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
<del>∳</del> ⊊≛∆ •	<b>小筑</b> 治攻	交通量	[台/日]	18,800	19,900
[バイノ	新設・改築道路 [バイパス等] : 5.1km	走行時間	[分]	8	6
. 5	. IKIII	走行時間費用	[億円/年]	43.97	35.31
		交通量	[台/日]	29,900	29,700
	国道4号 :6.1km	走行時間	[分]	8	8
主な周		走行時間費用	[億円/年]	62.06	61.65
辺道路	主)青森	交通量	[台/日]	2,300	2,200
	環状野内 線	走行時間	[分]	13	13
	: 10.0km	走行時間費用	[億円/年]	7.98	7.60
	道路合計 2.9km	走行時間費用	[億円/年]	6,691.48	6,690.55

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:4924.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,805.49	6,795.11	10.38

四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

1: 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

2: 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

3: 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

4: 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。



# 費用便益分析の条件

事業名: 青森環状道路

(2)

			項目	チェック欄
		費用便益分析		
	算出マニュアル	(平成15年8	月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局	-
		その他		
		分析対象期間	40年間	
5.	分析の基本的事項	社会的割引率	4%	
		基準年次		平成17年
	交通流の	1時点のみ推		■ (H42)
	推計時点	複数時点での	D推計	
	推計の状況	整備の有無る	それぞれで交通流を推計	
	1EH1 02 1/1/20	整備の有無の	のいずれかのみ推計	口有 口無
		道路交通セン	ンサスをベースとした自動車OD表	
	₩=L1- 101 \	(三段階推定	法)	(H11センサス)
	推計に用いた OD表	パーソントリッ	ップ調査をベースとした自動車OD表	
	ODA	(四段階推定		
		その他(		
交		無		
通	田秀士泽里の	有		
流	開発交通量の 考慮		考慮した開発交通量(トリップ数)	( )台トリップ/日
推	<b></b>	有の場合のみ	考慮した理由を記載	
計				
		Q-V式を用	いた配分	
		転換率式を用		
	it	Q-V式と転		
	コハカダ星の	均衡配分(リ:	ンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
	配分交通量の 推計手法	簡易手法		
	1年日 丁Д	***	小規模事業である	
		簡易手法の 場合	山間部海岸部で併行道路が少ない	
			その他( )	
		その他(	)	
		各回の配分約	冬了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定		_
		採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通路線、等が混在した配分結果となっているため、費用(	通容量(Qmin~Qmax)の 再数質出においては、速
	本中記中の		度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	大世界山にのいては、区
	速度設定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		a parametera para de control de Salacia de Como, para de Maria de Salacia de Como de Salacia de Como de Salacia	
		最終配分の過		
		採用理由を記載	i e	
		その他(	)	

(3	/			1 100						
			項目	チェック欄						
		考慮しない								
		考慮する								
	// <del></del>		面的に考慮							
l	休日交通の		対象路線のみ考慮							
	影響	考慮する	採用した休日係数	( ) %						
		場合のみ	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の表	きえ方を記載						
	交通流推計の	平成15年8.	月12日付け事務連絡に基づく設定							
	時点以外の 便益の算定	その他	)							
便		費用便益分	析マニュアルの値を使用							
益	車種別時間	独自に設定し								
の算	価値原単位	算出根拠を添								
定		費用便益分	析マニュアルの値を使用							
_	車種別走行	独自に設定し								
	経費原単位	算出根拠を添								
	交通事故減少	中央分離帯(	の有無を考慮							
l	便益算定		の有無を考慮しない							
ı		考慮しない	1) III C J Mac Oct							
	時間短縮·費用減	考慮する								
	少・事故減少以外 の便益	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)								
	その他									
		詳細事業計	画による値を採用							
	事業費	標準投資パク	- A CONTRACTOR OF THE CONTRACT							
費		その他(	)							
用用			析マニュアルの値を使用							
0	維持管理費		実績値より設定							
算		その他(	)							
定	雪寒費		とは寒冷地域である							
L	その他	預当地場の	こはなりからみてのも							
	CONS									
4.	その他 上記のほか、B/	Cの算定にあ	5たっての問題点があれば、記述。							
ļ										
	••••••									
	***************************************	***************************************								

## 費用の現在価値算定表

箇所名:青森環状道路(全事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠	一般国道(直轄)	
単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.299	7.9	2.3621

				0.299	7.9	2.3621			
		割戻率	事業費	(億円)	維持修繕				
年次	年度		単純価値	現在価値	単純価値	現在価値			
-14年目	H 7	1.4802	0.20	0.30	0.00	0.00			
-13年目	H 8	1.4233	5.30	7.54		0.00			
-12年目	H 9	1.3686	8.70	11.91		0.00			
-11年目	H 10	1.3159	31.40	41.32		0.00			
-10年目	H 11	1.2653	19.80	25.05		0.00			
-9年目	H 12	1.2167	19.90	24.21		0.00			
-8年目	H 13	1.1699	20.50	23.98		0.00			
-7年目	H 14	1.1249	18.00	20.25		0.00			
-6年目	H 15	1.0816	4.70	5.08		0.00			
-5年目	H 16	1.0400	5.00	5.20		0.00			
-4年目	H 17	1.0000	3.00	3.00		0.00			
-3年目	H 18	0.9615	8.60	8.27		0.00			
-2年目	H 19	0.9246	8.60	7.95		0.00			
-1年目	H 20	0.8890	8.50	7.56		0.00			
供用開始年次	H 21	0.8548		0.00	2.36	2.02			
1年目	H 22	0.8219		0.00	2.36	1.94			
2年目	H 23	0.7903		0.00	2.36	1.87			
3年目	H 24	0.7599		0.00	2.36	1.79			
4年目	H 25	0.7307		0.00	2.36	1.73			
5年目	H 26	0.7026		0.00	2.36	1.66			
6年目	H 27	0.6756		0.00	2.36	1.60			
7年目	H 28	0.6496		0.00	2.36	1.53			
8年目	H 29	0.6246		0.00	2.36	1.48			
9年目	H 30	0.6006		0.00	2.36	1.42			
10年目	H 31	0.5775		0.00	2.36	1.36			
11年目	H 32	0.5553		0.00	2.36	1.31			
12年目	H 33	0.5339		0.00	2.36	1.26			
13年目	H 34	0.5134		0.00	2.36	1.21			
14年目	H 35	0.4936		0.00	2.36	1.17			
15年目	H 36	0.4746		0.00	2.36	1.12			
16年目	H 37	0.4564		0.00	2.36	1.08			
17年目	H 38	0.4388		0.00	2.36	1.04			
18年目	H 39	0.4220		0.00	2.36	1.00			
19年目	H 40	0.4057		0.00	2.36	0.96			
20年目	H 41	0.3901		0.00	2.36	0.92			
21年目	H 42	0.3751		0.00	2.36	0.89			
22年目	H 43			0.00	2.36				
23年目	H 44	0.3468		0.00	2.36	0.82			
24年目	H 45	0.3335		0.00	2.36	0.79			
25年目	H 46	0.3207		0.00	2.36	0.76			
26年目	H 47	0.3083		0.00	2.36	0.73			
27年目	H 48	0.2965		0.00	2.36	0.70			
28年目	H 49	0.2851		0.00	2.36	0.67			
29年目	H 50	0.2741		0.00	2.36	0.65			
30年目	H 51	0.2636		0.00	2.36	0.62			
31年目	H 52	0.2534		0.00	2.36	0.60			
32年目	H 53	0.2437		0.00	2.36	0.58			
33年目	H 54	0.2343		0.00	2.36	0.55			
34年目	H 55	0.2253		0.00	2.36	0.53			
35年目	H 56	0.2166		0.00	2.36	0.51			
36年目	H 57	0.2083		0.00	2.36	0.49			
37年目	H 58	0.2003		0.00	2.36	0.47			
38年目	H 59	0.1926		0.00	2.36	0.45			
39年目	H 60	0.1320	-47.60	-8.82	2.36	0.44			
合計	11 00	0.1002	114.60	182.80	94.48	41.57			
				, 52.50					
単純事業費計			162.20		94.48				

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

## 費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

費用の現在価値	昇正.	<b>表</b>	1	維持修繕費の単純		
		0.5		採用単価の根拠	一般国道(直轄)	
箇所名:青森田	環状道路	(残事業)		単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
				0.299	5.1	1.5249
		割戻率	事業費	(億円)	維持修繕	
年次	年度		単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
1450	11 7	1.4000	0.00	0.00	0.00	0.00
-14年目 -13年目	H 7	1.4802 1.4233	0.00	0.00	0.00	0.00
-13年日	H 9	1.3686	0.00	0.00		0.00
-11年目	H 10	1.3159	0.00	0.00		0.00
-10年目	H 11	1.2653	0.00	0.00		0.00
-9年目	H 12	1.2167	0.00	0.00		0.00
-8年目	H 13	1.1699	0.00	0.00		0.00
-7年目	H 14	1.1249	0.00	0.00		0.00
-6年目	H 15	1.0816	0.00	0.00		0.00
-5年目	H 16	1.0400	0.00	0.00		0.00
<u> </u>	H 17	1.0000	0.00	0.00		0.00
一3年目	H 18	0.9615	8.60	8.27		0.00
-2年目	H 19	0.9246	8.60	7.95		0.00
一1年目	H 20	0.8890	8.50	7.56	1 50	0.00
供用開始年次	H 21	0.8548		0.00	1.52 1.52	1.30 1.25
1年目	H 22	0.8219		0.00	1.52	1.25
2年目 3年目	H 23	0.7903 0.7599		0.00	1.52	1.16
3年日 4年目	H 25	0.7307		0.00	1.52	1.10
5年目	H 26	0.7026		0.00	1.52	1.07
6年目	H 27	0.7026		0.00	1.52	1.03
7年目	H 28	0.6496		0.00	1.52	0.99
8年目	H 29	0.6246		0.00	1.52	0.95
9年目	H 30	0.6006		0.00	1.52	0.92
10年目	H 31	0.5775		0.00	1.52	0.88
11年目	H 32	0.5553		0.00	1.52	0.85
12年目	H 33	0.5339		0.00	1.52	0.81
13年目	H 34	0.5134		0.00	1.52	0.78
14年目	H 35	0.4936		0.00	1.52	0.75
15年目	H 36	0.4746		0.00	1.52	0.72
16年目	H 37	0.4564		0.00	1.52	0.70
17年目	H 38	0.4388		0.00	1.52	0.67
18年目	H 39	0.4220		0.00	1.52 1.52	0.64 0.62
19年目	H 40	0.4057		0.00	1.52	0.62
20年目 21年目	H 42	0.3901 0.3751		0.00	1.52	0.57
22年目	H 43			0.00	1.52	0.55
23年目	H 44			0.00	1.52	
24年目	H 45	0.3335		0.00	1.52	0.51
25年目	H 46			0.00	1.52	0.49
26年目	H 47	0.3083		0.00	1.52	0.47
27年目	H 48	0.2965		0.00	1.52	0.45
28年目	H 49	0.2851		0.00	1.52	0.43
29年目	H 50	0.2741		0.00	1.52	0.42
30年目	H 51	0.2636		0.00	1.52	
31年目	H 52	0.2534		0.00	1.52	0.39
32年目	H 53	0.2437		0.00	1.52	0.37
33年目	H 54	0.2343		0.00	1.52	
34年目	H 55	0.2253		0.00	1.52	0.34
35年目	H 56			0.00	1.52	0.33
36年目	H 57	0.2083		0.00	1.52 1.52	
37年目 38年目	H 58			0.00	1.52	
39年目	H 60			0.00	1.52	
03+1	11 00	0.1002		0.00	1.02	0.20
A =1			05.70	00.70	01.00	00.01
合 計			25.70	23.78	61.00	26.81
単純事業費計			25.70		61.00	

## 走行時間短縮便益の現在価値算定表 箇所名:青森環状道路(全事業)

				722	constitution of the constitution		超7711、日本	*環状追給(3						~~~ = = = = = = = = = = = = = = = = = =	N. 110 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 - 210 -	**			19450-1110-1110-1110-111	合	81
1 1	年度		キロの年次別	Selection and the selection of the selec	割引率			走行時間短	縮便益(億円	)				走行経費減	少便益(億円	)		事故損出	費用(億円)		(億円)
	(基準年)		と東北ブロック	-							現在価値						現在価値		現在価値	費用合計	現在価値
年次		乗用車類			(A)	乗用車	パス	小型貨物		① at	①×(A)	乗用車	パス	小型貨物	普通貨物	② 計	(A) × ②	3	(3)×(A)	(1)~(3)	割戻率4%
供用開始年次			0. 99502	1.00466	0.8548	19	5	5	5	34		1	0		2	3			1 1	39	
			0. 99500	1.00464	0.8219	19	5	5	5	34	28	1	0		2				1	39	
	H 23		0. 99604	1.00153	0.7903	20	5	5	5			1	0		2	3			1	39	
		1.00422	0. 99603	1.00153	0.7599	20	5	4	5	34	26	1	0		1	3			1	39	
	H 25		0.99601	1.00152	0.7307	20	5	4	5	34	25	1	0	-	1	3			1 1	39	
			0.99600	1.00152	0.7026	20	5	4	5		24	1	0		1	3			1 1	39	
			0. 99598	1.00152	0.6756	20	5	4	5	35	23	1	0		1	3			1 1	39	
	H 28	-	0. 99596	1.00152	0.6496	20	5	4	5	35	22	1	0		1	3			1	39	
	H 29	1.00413	0. 99595	1.00151	0.6246	20	5	4	5	35	22	1	0		1	3			1 1	39	
	H 30	1.00411	0.99593	1.00151	0.6006	20	5	4	5	35	21	1	0		1	3			1 1	39	
	H 31	1.00410	0. 99591	1.00151	0.5775	20	5	4	5	35	20		0		1	3	3 2		1 1	39	
			0.99590	1.00151	0.5553	20	5	4	5	35	19		0		1	3	3 2		1 1	40	
	H 33	0.99850	0. 99377	0.99702	0.5339	20	5	4	5	35	19		0		1	3	3 2		1 1	39	
			0. 99374	0.99701	0.5134	20	5	4	5	35	18		0		1	3	3 2		1 1	39	
			0.99370	0.99701	0.4936	20	5	4	5	35	17	1	0		1	3	3 2		1 1	39	
			0.99366	0.99700	0.4746	20	5	4	5	34	16	1	0		1	3	3 2	:	1 1	39	
16年目			0.99362	0.99699	0.4564	20	5	4	5	34	16	1	0		1	3	3 2	2	1 1	39	
			0.99357	0.99698	0.4388	20	5	4	5	34	15	1	0		1	3	3 1		1 1	39	
18年目	H 39	0.99849	0. 99353	0.99697	0.4220	20	5	4	5	34	14	1	0	1	1	3	3 1		1 1	39	
19年目	H 40	0.99849	0.99349	0.99696	0.4057	20	5	4	5	34	14	1	0	1	1	3	3 1		1 1	39	16
20年目	H 41	0.99848	0. 99345	0.99695	0.3901	20	5	4	5	34	13	1	0		1	3	3 1		1 1	39	
21年目	H 42	0.99848	0.99340	0.99694	0.3751	20	5	4	5	34	- 177	1	0	1	1	3	3 1		1 1	38	
22年目	H 43	0.99701	0.99500	0.99640	0.3607	20	5	4	5	34		1	0	1	1	3	3 1		1 0	38	3 14
23年目	H 44	0.99700	0.99498	0.99639	0.3468	20	5	4	5	34	12	1	0	1	1	3	3 1		1 0	38	3 13
24年目	H 45	0.99699	0.99495	0.99638	0.3335	20	5	4	5	33		1	0	1	1	3	3 1		1 0	38	
	H 46	0.99698	0.99493	0.99636	0.3207	20	5	4	5	33		1	C		1	3	3 1		1 0	38	
	H 47	0.99697	0.99490	0.99635	0.3083	20	5	4	5	33			C	1	1	3	3 1		1 0	38	
27年目	H 48	0.99696	0.99487	0.99634	0.2965	20	5	4	5	33		1	0	1	1	3	3 1		1 0	38	-
28年目	H 49	0.99696	0.99485	0.99632	0.2851	20	5	4	5	33		1		1	1	3	3 1		1 0	38	3 11
29年目	H 50	0.99695	0.99482	0.99631	0.2741	19	5	4	5	33		1		1	1		3 1		1 0	37	7 10
30年目	H 51	0.99694	0.99479	0.99630	0.2636	19	5	4	5	33		1	0	1	1	3	3 1		1 0	37	7 10
31年目	H 52	0. 99693	0.99477	0.99628	0.2534	19	5	4	5	33	8	1	0	1	1	- 3	3 1		1 0	37	1 8
32年目	H 53	0.99603	0. 99751	0.99647	0.2437	19	5	4	5	33	8	1		1	1		3 1		1 0	37	1 8
33年目	H 54	0.99601	0.99751	0.99646	0.2343	19	5	4	5	32	8	1		1	1		3 1		1 0	37	1 5
34年目	H 55	0.99600	0.99750	0. 99645	0.2253	19	5	4	5	32	7	1	(	1	1		3 1		1 (	37	1 8
35年目	H 56	0. 99598	0.99749	0. 99643	0.2166	19	5	4	5	32	7	1		1	1		3 1		1 (	37	1 8
36年目			0. 99749	0. 99642	0.2083	19	5	4	5	32	7	1		1	1		3 1		1 0	37	1 1
37年目			0. 99748	0. 99641	0.2003	19	5	4	5	32	6	1		1	1		3 1		1 (	36	3
			0. 99747	0. 99640	0.1926	19	5	4	5	32		1		1	1		3 1		1 (	36	3
39年目				0. 99638	0.1852	19	5		5				(	1	1		3 1		1 (	36	
合 計	50					787	195		199			38	11	28	53	13	1 58	3 5	4 24	4 1,530	0 680

#### 走行時間短縮便益の現在価値算定表 <u>箇所名:青森環状道路(残事業)</u>

		.血リル 日間に弁人		T	国/// 九 . 四 /	深環状追路(	ス字米/											合	8+
	年度	総走行台キロの年次別伸び	率 割引率			走行時間短	縮便益(億円)	)				走行経費減	少便益(億円	)		事故損出	費用(億円)		(億円)
2012/2015	(基準年)	(北東北ブロック)							現在価値			a was don't			現在価値		現在価値	費用合計	現在価値
年次		乗用車類 貨物車類 全		乗用車	パス	小型貨物		① 計	①×(A)	乗用車	バス		普通貨物	② 計	(A) × ②	3	③×(A)	(1)~(3)	- Indiana in the latest and the late
供用開始年次 1年目		1.00956 0.99502 1.00 1.00947 0.99500 1.00			1	1	2	11			0		0				0	12	
2年目	H 23		10.		1	1	2	11		- 7		1	0	-		<del>                                     </del>	0	12	
3年目		1.00424 0.99604 1.00			-	1	2	11	8				0		1		0	12	
4年目		1.00422 0.99601 1.00	100			1	2	11	8				0				0	12	
5年目	H 26	1.00418 0.99600 1.00	102			1	2	11	7				0				0	12	
6年目	H 27		102		1	1	2	11	7		_	0	0				0	12	
7年目	H 28				1	1	2	11	7	(	0	0	0	1	1 (	1	0	12	
8年目	H 29	1,00413 0,99595 1,00		7	1	1	2	11	7		0	0	0	1	1 (	1	0	12	7
9年目	H 30	1.00411 0.99593 1.00		3 7	1	1	2	11	6	(	0	0	0	1	(		0	12	7
10年目	H 31	1.00410 0.99591 1.00		7	1	1	2	11	6	(	0	0	0	1	1 (		0	12	7
11年目	H 32	1.00408 0.99590 1.00	151 0.555	3 7	1	1	2	11	6	(	0	0	0	1	1 (	1	0	12	7
12年目	H 33	0.99850 0.99377 0.99	702 0.533	7	1	1	2	11	6	(	0	0	0	1	1 (		0	12	€
13年目	H 34	0. 99850 0. 99374 0. 99	701 0.5134	7	1	1	2	11	5	(		0	0	1	1 (		0	12	6
14年目	H 35	0. 99850 0. 99370 0. 99	701 0.493	3 7	1	1	2	11	5		0	0	0	1	1 (		0	12	6
15年目	H 36	0. 99850 0. 99366 0. 99	700 0.474	5 7		1	2	11	5	(		0	0		1 (		0	12	
16年目		0. 99849 0. 99362 0. 99			1	1	2	11		(	) (	0	0	1	1 (		0	12	
17年目		0. 99849 0. 99357 0. 99			1	1	2	11		(	) (	0	0	1	1 (		0	12	
18年目	H 39	0. 99849 0. 99353 0. 99				1	2	10		(		0	0		1 (		0	12	
19年目	_	0. 99849 0. 99349 0. 99				1	2	10		(	) (		0		1 (		0	12	
20年目		0. 99848 0. 99345 0. 99				1	2	10		(	) (	-	0		1 (		0	12	
21年目		0. 99848 0. 99340 0. 99			1	1	2	10		(		0	0		1 (		0	12	
22年目		0. 99701 0. 99500 0. 99			1	1	2	10				0	0		1 (		0	12	
23年目		0.99700 0.99498 0.99			1	1	2	10		(		0	0		1 (		0	12	
24年目		0. 99699 0. 99495 0. 99				1	2	10		-		0	0		1	1	0	12	
25年目		0.99698 0.99493 0.99				1	2	10				0	0		1		0	11	
26年目		0.99697 0.99490 0.99					2	10				0	0		1 (		0	11	
27年目		0.99696 0.99487 0.99			-		2	10	_	-		0 0	0		1	7	0	11	
28年目		0.99696 0.99485 0.99				1	2	10				0 0	0 0		1		0	11	
29年目		0.99695 0.99482 0.99	001		-		2	10				0 0	+		1	1	0	11	
30年目 31年目		0.99694 0.99479 0.99 0.99693 0.99477 0.99			-		2					0 0			1	1	1 0	11	
- CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH			020		-		2	10		1	+	0 0	0	+	1	1	1 0	11	
32年目 33年目	-	0. 99603 0. 99751 0. 99 0. 99601 0. 99751 0. 99				1	2					0 0	-		1	1	1 0	11	
33年日		0. 99601 0. 99751 0. 99	0.10				2					-	0		1		1 0	11	
35年目		0. 99598 0. 99749 0. 99	0.10				2	105				0 0	0		1		1 0	11	
36年目		0. 99598 0. 99749 0. 99	- 10				2				_	0 0	0		1		1 0	11	
37年目		0. 99597 0. 99749 0. 99	0 14				2					0 0	) 0		1		1 0	11	
38年目		0. 99593 0. 99747 0. 99				1	2					0 0	-		1		1 0	11	
39年目		0. 99592 0. 99747 0. 99				1	2					0 0			1		1 0	11	
合 計	111 00	0. 00002 0. 00141 0. 00	0.100	262	2	5 52						5 6	3 10		-			464	